



令和7年9月2日

報道関係者各位

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学

令和7年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス”
開催について（ご案内）

帯広畜産大学では、研究開発活動を紹介すると同時に交流の場を設け、地域における産学官金連携活動を推進するため、下記のとおり、令和7年度 帯広畜産大学 産学官金連携交流会 “大人のオープンキャンパス” を開催いたします。

つきましては、周知および当日の取材について、よろしくお願いいたします。

記

【テーマ】

十勝における農産物の高付加価値化

【日時・場所】

日 時：令和7年9月29日（月）

第1部：13:30～14:30 研究室訪問（集合：13:00 *応募者のみ）

第2部：15:00～17:30 帯広畜産大学 講堂/オンライン配信（開場：14:30）

第3部：17:45～19:00 帯広畜産大学 生協前広場（雨天：かしわプラザ）

【参加費】

無料（第1部・第2部）、3,000円（第3部）

【第1部：研究室訪問】 *企業等集積プラットフォーム参画機関の方限定です。

- ① 菅原研究室
- ② 共同利用設備ステーション
- ③ 草場研究室+畜産フィールド科学センター牛舎

【第2部：講演会】

(プログラム)

- 開会挨拶 帯広畜産大学長 長澤 秀行
- 基調講演 「にほんの小麦と生きていく」
敷島製パン株式会社 マーケティング、R&D本部
研究部 基礎研究グループ マネージャー 山田 大樹
- 講演Ⅰ 「十勝における大麦栽培と大学パン工房を活用した加工品の可能性」
帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授 高田 兼則

—休憩—

- 講演Ⅱ 「地域農産物の機能性評価と高付加価値化の取り組み」
帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 教授 渡辺 純
- 教員紹介フラッシュトーク
「鶏卵の栄養成分評価」
帯広畜産大学 グローバルアグロメディシン研究センター
准教授 後藤 達彦
「油脂分析技術を基盤とした付加価値評価」
帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門 准教授 山下 慎司
「デンプンの物理化学的特性や機能性の評価」
帯広畜産大学 生命・食料科学研究部門
助教 サマンティ ペルポラゲ

- 閉会挨拶 帯広畜産大学 産学連携センター長 岡田 繁

【第3部：情報交換会】 *会費：3,000円

- 情報交換会 野外バーベキュー、Beer Meeting、畜大屋台

【主催】帯広畜産大学

【共催】とかち財団

【後援】帯広市

【申込方法】*事前登録制です。

産学連携センターHP の申込フォームまたはチラシ裏面の申込書にて、9月24日(水)までにお申し込みください。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/1XdC2h1QEEWCPJm37>

【お問い合わせ先】

帯広畜産大学 産学連携センター

(担当：東・高橋・輿水)

電話：0155-49-5771

メール：crcenter@obihiro.ac.jp

令和7年度 産学官金連携交流会

大人のオープンキャンパス

～十勝における農産物の高付加価値化～



帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

参加費

第1部：無料
第2部：無料
第3部：3,000円

2025

9/29 (月)

帯広畜産大学 講堂
&
オンライン配信 (第2部のみ)

第1部

13:30～14:30 (受付 13:00)

研究室訪問

会場：帯広畜産大学 講堂集合、各研究室

*第1部は、企業等集積プラットフォーム
参画機関の希望者限定です。

第2部

15:00～17:30 (受付 14:30)

講演会

会場：帯広畜産大学 講堂 & オンライン配信 (Zoom)

第3部

17:45～19:00

情報交換会

会場：帯広畜産大学 生協前広場 (雨天時：かしわプラザ)

対象

地域の中小企業・団体等の産学官金関係者、学生など

参加申込

申込みフォームまたは裏面の参加申込書にてお申し込みください。

※切：9/24 (水)

<https://forms.gle/eYermFdNgZwcUKuJZ>

申込QRコード



第1部 研究室訪問

*第1部は、企業等集積プラットフォーム参画機関限定です。

参加希望の方でまだプラットフォームへ登録されていない場合は、[HP](#)よりお申し込みください。

13:30 訪問先 (詳細は裏面をご覧ください。) 各研究室定員：5名

① 菅原研究室

生命・食料科学研究部門 准教授

菅原 雅之

② 共同利用設備ステーション

グローバルアグロメディシン研究センター 教授

福田 健二

③ 草場研究室 + 畜産フィールド科学センター牛舎

畜産フィールド科学センター 教授

草場 信之

14:30



第2部 講演会プログラム

15:00 開会挨拶

帯広畜産大学長 長澤 秀行

15:10 基調講演

■にほんの小麦と生きていく

敷島製パン株式会社
マーケティング、R&D本部
研究部 基礎研究グループ マネージャー

山田 大樹

15:55 大学講演

■十勝における大麦栽培と大学パン工房を活用
した加工品の可能性

生命・食料科学研究部門 教授

高田 兼則

-休憩-

■地域農産物の機能性評価と高付加価値化の
取組み

生命・食料科学研究部門 教授

渡辺 純

16:55 教員紹介フラッシュトーク

■鶏卵の栄養成分評価

グローバルアグロメディシン研究センター 准教授 後藤 達彦

■油脂分析技術を基盤とした付加価値評価

生命・食料科学研究部門 准教授 山下 慎司

■デンブンの物理化学的特性や機能性の評価

生命・食料科学研究部門 助教 サマンティ ペルボラゲ

17:25

17:30 閉会挨拶

産学連携センター長 岡田 繁



第3部 情報交換会

17:45 BBQ & Beer Meeting

【主催】帯広畜産大学 【共催】とちか財団 【後援】帯広市

2025年9月29日（月）

締切：9月24日（水）

帯広畜産大学 産学官金連携交流会 参加申込書

必要事項をご記入のうえ
メールまたはFAXにてご送付ください。

E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp
FAX : 0155-49-5775

お名前（必須）	
ご所属・役職等	
電話番号（必須）	
メールアドレス（必須）	
申し込み内容	<input type="checkbox"/> 第1部：研究室訪問 （*企業等集積プラットフォーム参画機関限定） 訪問を希望する研究室 * 下記①～③よりお選びください。 第1希望（ ） 第2希望（ ） 訪問を希望する理由（任意） <input type="checkbox"/> 第2部：講演会 参加方法（ <input type="checkbox"/> 現地 ・ <input type="checkbox"/> オンライン ） * オンラインの参加方法については別途ご案内いたします。 <input type="checkbox"/> 第3部：情報交換会（BBQ） *会費：3,000円 * 第3部の会費に残金が生じた場合は、帯広畜産大学の産学連携活動に活用させていただきますので、予めご了承ください。 * 会費は、当日受付にて現金でのお支払いをお願いします。
ご参加を希望されるものに <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。	

【第1部：研究室訪問について】（*企業等集積プラットフォーム参画機関の希望者限定です。）

研究室訪問に参加をご希望される方は、下記の①～③からご希望の研究室をお選びください。
各施設の定員は5名ですが、希望者多数の場合は抽選いたします。
訪問場所が決まりましたら、9月25日（木）までにメールでお知らせいたします。

* 具体的に本学との共同研究等を検討している方を優先させていただきます。

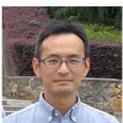
* 企業等集積プラットフォームへまだ参画されていない方は、HP（http://univ.obihiro.ac.jp/~platform/tp_detail.php?c=join）よりお申し込みください。



入会QRコード

① 菅原研究室

微生物の力を利用した清酒の品質向上と開発



人の生活において微生物の働きは重要です。我々の研究室では食や環境に対する微生物の応用を目指しており、有用微生物の探索とその機能解明を行っています。主には大学構内にある碧雲蔵の皆様と連携し、清酒の品質向上と十勝発の新酒開発に向けた醸造微生物の動態解析、有用な酵母や乳酸菌の探索、また小規模清酒醸造と成分評価にて微生物の清酒の品質に与える影響を研究しています。（写真は、菅原先生）

② 共同利用設備ステーション

大学の研究力向上と産官学連携の技術的基盤として



共同利用設備ステーションは、本学のすべての研究者や学生が利用できる共用研究機器の運用や整備等のマネジメントを行ない、研究力向上のための環境づくりを努めています。共用研究機器は学外の企業や公設試の研究者にも開放しています。機器の共同利用や共同研究を通して人材交流を促し、地域の産学官連携による新たな知の創出の場となることを目指しています。おもな研究機器は、次世代シーケンサー、リアルタイムPCR、セルソーター、質量分析器、元素分析装置、アミノ酸分析機、蛍光顕微鏡、共焦点レーザー顕微鏡などです。（写真は、共同利用設備ステーション教員の福田先生）

③ 草場研究室 + 畜産フィールド科学センター牛舎

酪農生産の入口と出口のコントロール



畜産フィールド科学センターで、生産の入り口を健康な子牛の育成、出口を乳生産と捉え、乳牛の生（いのち）を衛（まもる）、すなわち畜産衛生分野に関する研究を行っています。25年間の臨床現場での経験を基に、生産性向上に直結する実効性のある技術開発が主軸です。抗生物質による疾病制御は昔の話。現在、牛を健康に育てることが生産性向上、安全な畜産物提供の近道と考え、異常を早期に見つけるリモートモニタリングなどの技術開発を企業との共同研究として実施しています。（写真は、草場先生）

* 1週間以内に海外渡航歴のある方のご入場は、防疫上の観点からお控えください。おります。当日、他の農場へ訪問された方は、シャワーをお済ませのうえご来場ください。

【帯広畜産大学 会場案内図】



参加費

第1部：研究室訪問 無料
第2部：講演会 無料
第3部：情報交換会 3,000円

【個人情報の取り扱いについて】

- 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「北海道国立大学機構保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- お申込み時にお知らせいただいた個人情報については、本交流会の運営、本学の産学連携活動を行うためにのみ利用します。
- 講演等をより効果的にするために、講演者へ所属機関・役職・氏名の情報を提供することがあります。